

# Newsletter

## Life Science Vol.3

参考和訳（一部）

ビジネスオウル

2013年10月

☐

**オウル「ライフサイエンス」が発信するニュース**

今回のニュースレターでは次のような内容をお届けします。

- ビジネスオウルがライフサイエンス企業カタログを発表
- 未来のための健康スキームを牽引するオウル覚書について

## ●ビジネスオウルがライフサイエンス企業カタログを発表

ビジネスオウルがライフサイエンス企業カタログを作成した。カタログには ICT とヘルスケア専門の合同企業、バイオエコノミー、食品安全分野の事業、そしてヘルスインテリジェンス（オウルヘルス）など地域をリードする企業 23 社が含まれる。オウルのバイオ、健康福祉企業が参加するライフサイエンスビジネスセクターは 1,750 名を超える経営者から成り、関連分野のテクノロジーやサービス企業も含まれている。

「ライフサイエンスセクターはオウルを拠点とする約 200 の企業を含んでおり、それらの企業はテクノロジーを活用している。企業は国内需要を満たすとともに世界市場での成長も目指している。」とビジネスオウルディレクターのユハ・アラームルスラ氏は語る。加えて、オウルは食品安全技術の分野で世界をリードしている。

『フィンランドのオウルライフサイエンス 企業カタログ 2014』は現在 38 ページから成り、ネットワーク上から無料で入手可能である。

より詳しい情報に関する問い合わせは下記のとおり。

Tuula Palmén

Key account director, LifeScience

Tel: +358 50 461 7290

[tuula.palmén@businessoulu.com](mailto:tuula.palmén@businessoulu.com)

## ●未来のための健康スキームを牽引するオウル

フィンランドの雇用経済省は 2014 年にスタートした INKA イノベーションシティープロジェクトにおいて5つのテーマを挙げた。INKA はエクセレントプログラムを継続するためのセンター（OSKE）である。そのスキームは国際競争力の改善および都市と州政府間の協力による新しいビジネスを創造するという大きな構想を支援している。INKA は 2014 年から 2020 年に実施され、2017 年には中間評価が行われる予定である。参加の州や都市からの投資に加えて、イノベーションセンターは来る EU ストラクチャーファンドによって設立される予定である。

雇用経済省はまた INKA スキームのための 5 つのテーマを挙げた。それは、未来のための健康、バイオエコノミー、持続可能なエネルギー問題への解決策、スマートシティと再生可能な産業、そしてサイバーセーフティである。これらのテーマを担当する都市は、オウル（未来のための健康）、ヨエンスー（バイオエコノミー）、ヴァーサ（持続可能なエネルギー問題への解決策）、タンペレ（スマートシティと再生可能な産業）、そしてユヴァスキュラ（サイバーセーフティ）である。

各都市のためのワークショップはオウルが企画し、未来のための健康スキームに関する素案は 2013 年 8 月 30 日にオウル市が雇用経済省で発表した。

より詳しい情報に関する問い合わせは下記のとおり。

Noora Jansson  
Contact Manager, OuluHealth  
BusinessOulu